



Harashin Narus
Holdings

原信ナルス ホールディングス

第61期 中間事業報告書

2011年4月1日から2011年9月30日まで





当中間期の概況

当中間期のわが国経済は、東日本大震災や世界経済の混乱により、先行き不透明な状況が続いております。

このような中で、当中間期における当社グループの連結業績は、売上高が633億87百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益が20億77百万円（前年同期比1.5%増）、経常利益が20億48百万円（前年同期比0.7%増）、四半期純利益が10億95百万円（前年同期比294.6%増）となり、1株当たり四半期純利益は62円22銭となりました。

四半期純利益が、前年同期に比べ大幅な増加となっているのは、経常利益の増加に加え、前年同期が「資産除去債務に関する会計基準等」の適用による多額の会計基準変更時差異を特別損失に計上したものの、当中間期については、同様なものがなかったためであります。

◎ 全般

東日本大震災の発生は、あらゆる流通網を阻害し、当社の事業活動にも影響を及ぼしました。また、放射性物質の問題や原料原価の高騰、為替相場の急激な変化など、新たな課題も生じました。

こうした状況の中で、当社グループは、お客様にご支持をいただける強固で優良なリージョナル・チェーンを形成するため、長期経営計

主要財務指標（連結）

（単位：百万円）

	2008.3		2009.3		2010.3		2011.3		2012.3	
	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末予想
売上高	55,856	111,537	58,203	116,219	59,330	118,070	61,504	123,360	63,387	124,500
売上総利益	15,274	30,625	15,580	31,518	15,638	31,590	16,296	33,229	16,791	
営業利益	1,738	3,629	1,432	3,220	1,619	3,295	2,047	3,824	2,077	3,900
経常利益	1,830	3,726	1,373	3,054	1,538	3,166	2,035	3,807	2,048	3,900
四半期(当期)純利益	504	1,535	579	1,064	772	1,425	277	1,347	1,095	1,800
純資産	20,455	21,242	21,513	21,744	22,409	22,866	22,875	22,937	24,116	
総資産	47,995	48,664	50,100	52,051	51,548	51,138	53,837	54,125	53,928	
1株当たり配当額(円)	10.00	26.00	10.00	22.00	10.00	24.00	10.00	22.00	10.00	30.00
売上高経常利益率(%)	3.3	3.3	2.3	2.6	2.6	2.7	3.3	3.1	3.2	
総資本経常利益率(%)	7.6	7.7	5.4	6.1	5.9	6.1	7.6	7.2	7.6	
期末店舗数(店)	63	63	62	63	64	65	65	66	66	
期末従業員数(人)	1,164	1,172	1,243	1,274	1,315	1,285	1,363	1,412	1,486	

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。 2. 店舗数は、各期末のスーパーマーケットの店舗数です。 3. 従業員数は各期末の従業員数で、パートタイマーを含みません。
4. 1株当たり配当額には、1株当たり中間配当額を含みます。 5. 四半期純利益は、第2四半期累計期間の数値を記載しております。

画「Advanced Regional Chain」及びこれに基づく中期経営計画に沿った事業活動を行ってまいりました。

◎ 商品政策

震災により、お取引先様の一部が被害を受けたことや、お客様の購買行動が急激に変化したことから、一部の商品において一時的な調達不足に陥りました。

当中間期前半にこの状況は落ち着きましたが、この期間、当社グループでは、お客様に極力ご迷惑をお掛けすることが無いよう、代替商品の確保や、従来とは異なる調達ルートでの商品確保に努めました。

放射性物質に関する問題については、行政とともに業界全体が一丸となって継続的に取り組むべき課題と考えておりますが、緊急に対応が必要であった国産牛の安全性確保については、取引先の協力を得て自主検査体制を構築するなど、当社グループ独自の取り組みを行ってまいりました。今後も、安心・安全な商品のご提供に努めてまいります。

一昨年から開始した「ニューコンセプト・パートⅡ」に基づく商品政策の深耕と店舗改装を含めた既存店への展開は、着実に成果を上げております。

また、従来からの「販売数量日本一の取り組み」をさらに進化させ、「チャレンジ商品101」の取り組みを今期から開始いたしました。これは新しい商品政策であるニューコンセプト・パートⅡと連動させ、お客様の生活に豊かさや楽しさをご提供できる商品を選定、販売するこ

とで差別化を強化する目的であり、売上総利益率の安定にも寄与しております。

◎ 販売政策

販売計画の立案から実行、振り返りまでの一連のサイクルを体系化した週間管理の仕組みが定着し、適正利益の確保につながっています。この結果、東日本大震災直後の混乱や生鮮相場の変動といった状況下にあっても、店舗段階での売上総利益率は、前年同期に比べ0.3ポイント増加し、24.3%となりました。

◎ 出店、退店等

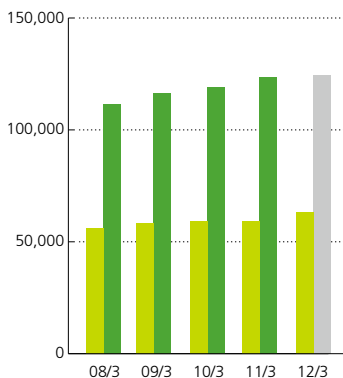
出店につきましては、原信近江店(7月・新潟県新潟市・売場面積2,087㎡)を新設した他、既存店舗の移転先として原信糸魚川東店(9月・新潟県糸魚川市・売場面積2,057㎡)を新設しました。

退店につきましては、新店舗への移転に伴い、原信糸魚川店(8月・新潟県糸魚川市・売場面積1,693㎡)、原信幸町店(9月・新潟県長岡市・売場面積1,458㎡)を閉鎖いたしました。

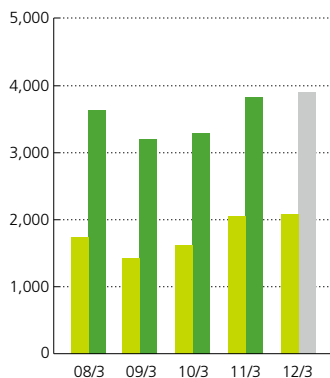
◎ 新規事業

新たな取り組みとして、原信ネットスーパー(<http://harashin-netsuper.hnhd.co.jp>)を9月に開設いたしました。これはインターネットでお客様からご注文を受け付けて、商品をお届けするネット通販型のサービスです。

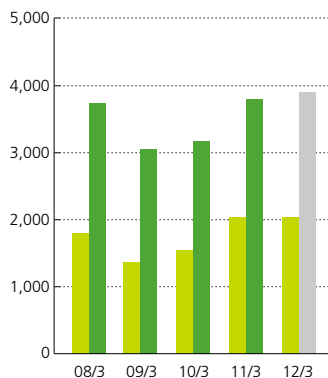
売上高



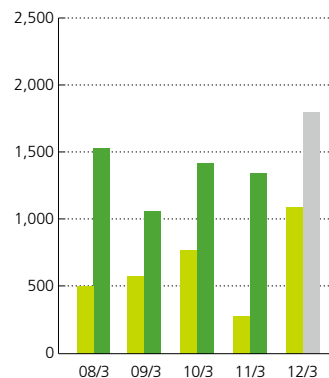
営業利益



経常利益



四半期(当期)純利益



■ 中間 ■ 期末 ■ 期末予想

単位:百万円



Q1 当中間期の業績について教えてください。

当中間期は東日本大震災後の混乱、放射能問題への対応、世界的な経済の混乱、さらには水害や台風などの新たな災害対応など、まさに激動の半年間でした。特に4月は、お客様にご迷惑をおかけしないように、震災による供給不足に陥った一部商品の集荷に全力を上げ、代替商品の確保や新しい調達先の開拓に努めました。6月後半から始まった猛暑の影響で、清涼飲料水などの夏物商品の販売が好調に推移したことにより、震災前に計画した目標にほぼ近い数値で着地することができました。

震災による混乱が落ち着き始めた頃、一部の牛肉で基準値を超える放射性物質が検出されました。放射性物質に汚染された稲藁が飼料に使われ、全国に出荷されていることが報道

されたことで、お客様の商品に対する不安感が一気に高まりました。当社では、直後から仕入先様や社団法人新潟県環境衛生中央研究所様の協力を得て、放射線の種類と放射線量を検査した国産牛肉を販売することにしました。

また、節電については、震災発生直後から空調の停止、照明の間引きなど全店舗で取り組みを開始し、当中間期では約20%の削減を行いました。このことは、結果的にコストの削減にもつながっており、今後も引き続き取り組んでいきます。

大震災後の混乱や生鮮相場の変動にもかかわらず、一定以上の荒利益率を確保できたのは、販売計画を一週間の行動計画に落とし込みPDCA*を回していく、ウィークリーマネジメントが全店舗で定着してきたことによるものです。社員一人ひとりの真摯な努力のおかげだと考えています。

* PDCA(Plan→Do→Check→Action): 計画→実行→検証→対策の管理サイクルのこと

New Way,

～常に新しいやり方で、チェーンストアの
使命を果たしていきます。～



Q2 東日本大震災の被災地に対し、「まごころの一円プログラム」を4月に始められましたが、この取り組みについて教えてください。

4月1日に開始した「まごころの一円プログラム」は、お客様が当社の店舗でオリジナル商品1個をお買い上げいただくごとに当社が1円を積み立て、被災地を継続して支援する取り組みです。震災直後から、私たちが常に意識し続けたのは、「今、チェーンストアとして何をすべきか?」ということでした。私たちは7年前の新潟県中越地震と4年前の新潟県中越沖地震の被災者です。その時に各方面から頂戴したご支援のご恩返しとして、地震発生直後から大量の救援物資を送る活動や、店頭で支援物資を受け付けてNPO団体を通じ供給する活動ができたのも、チェーンストアだからこそ実現できたも

のでした。また、「まごころの一円プログラム」は、チェーン展開によるプライベートブランド作りの成果でもあると思います。このプログラムの趣旨が全国の流通企業に波及し、普段のお買い物を通じて被災地を応援しようという機運につながりました。

開始から半年が経過し、現在までに約3,300万円が積み立てられていますが、このうち1,500万円をサンマの自動選別機の購入に充て、9月28日に宮城県の気仙沼漁業協同組合様に贈呈しました。震災前は屈指のサンマ水揚げ量を誇った同漁協は、自動選別機を津波で失い、手作業でサンマの選別を余儀なくされていました。私たちスーパーマーケットにとっても、日本の食文化にとっても、三陸の漁業が衰退するのは痛手です。水揚げシーズンを迎えるにあたって、自動選別機を活用することで魚市場を一日も早く復旧していただき、新鮮でおいしいお魚を全国に届けてほしいと願っております。

Q3 原信ネットスーパーを開店されましたが、その狙いについて教えてください。

9月22日に原信ネットスーパーを開店しました。これはインターネットでお客様からご注文を受け付けて、商品をお届けするネット通販型のサービスで、「原信より便利な@原信」をコンセプトに、約3,000種類の商品を、離島を除く新潟県内全域にお届けする取り組みです。これにより近隣に原信ナルスの店舗が無かったお客様や、ご来店にご不便を感じておられるお客様にも、お気軽にご利用していただくことができるようになります。また、小さなお子様のいる世帯やお買い物が困難な高齢の方、お米などの重い商品のご購入や雨や雪の日の外出がわずらわしい時など、お買い物の苦労を軽減す

るメリットがあると考えています。

配送コストが高つくことから、先行してネットスーパーを展開している大手でも配送のカバー領域は、新潟市内と長岡市内が基本でした。私たちはヤマト運輸様と提携し、同社の宅急便をフル活用することで新潟県全域をカバーする新たな取り組みを行いました。開店後、会員数と受注は予想を超えて順調に推移しています。

好調な原因は、当社が新潟県のほぼ全域に出店しており知名度が高かったことと、従来から品質に重点をおいた営業を行ってきたことで、お客様が安心してご利用くださっているからだと考えています。

今後は品揃えの充実やより使いやすい注文の仕方などを工夫し、一層皆様のお役に立ちたいと考えています。



New Value.

～ “チェーンストアのご利益”を

お客様にご提供していきます。～

Q4 長期経営計画“Advanced Regional Chain”の進捗についてはいかがでしょうか。

新ビジョンの位置付けについて説明を補足させていただきますと、これはSSM*200店舗と言う数値目標を含めて「現在は不可能に見えても時間をかけて実現したい総合的な到達点の目安」であり、激変する環境の中で私たちが日々の仕事の方向性を見失わないように、目指すべきところを明確にしたものです。

わかりやすく表現するために、SSM200店舗という数値目標を掲げていますが、これは店舗数の増加自体が目的ではなく、店舗数が増加することで、今までは不可能だった商品開発が可能になったり、国内外の産地から、よりお客様に喜んでいただける価値ある商品を探して、それを多くの店舗を通じてお客様にご提供できるようになることが目的です。

SSM200店舗という目標には、これによって、従来よりもより大きなチェーンストアのご利益をお客様に提供できるようにしたいという願いを込めております。

また、従来から引き続き「日本一のサービス」の実現も掲げており、サービスレベル、サービスマインドの向上をグループの年度方針のひとつとして取り組んでいます。

今後も原信ナルスはTQMを中心に全員が努力を惜しまず、日々お客様にご満足いただけるように努めてまいります。

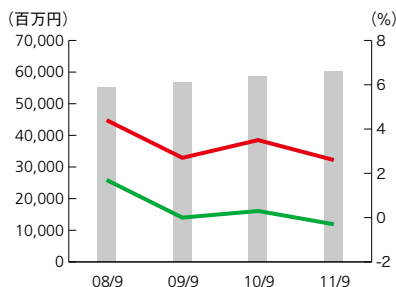
株主・投資家の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

原 和彦

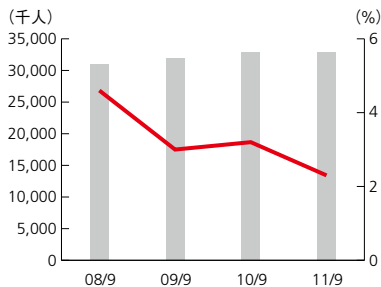
* SSM(スーパー・スーパー・マーケット): 大型のスーパーマーケット

店舗売上高の推移



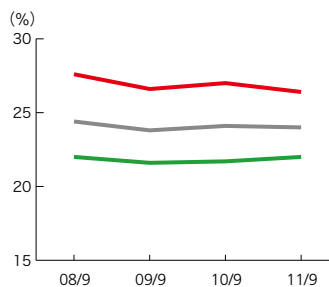
■ 全店売上高
■ 全店売上高伸び率
■ 既存店売上高伸び率

客数の推移



■ 客数
■ 全店客数伸び率

主要商品別店舗荒利益率



■ 生鮮食品
■ 一般食品
■ 合計

(注) スーパーマーケット事業の数値です。

New Concept

“他には無い何か”で、
ご満足いただけるようにしていきます。

原信近江店(新潟県新潟市 7月15日開店)

新潟市内初のニューコンセプトパートⅡ店舗としてオープンしました。鹿児島県産黒豚を使用した厚切りの「三つ星ロースとんかつ」を始めとする精肉の品揃え、鮮度の高い素材の生ネタ寿司や地元の鮮魚を提供するなど、ライフスタイルの変化に合わせた商品構成、地域一番のフレンドリーな接客を心掛けています。



原信糸魚川東店(新潟県糸魚川市 9月1日開店)

16年間営業した糸魚川店を近隣に移転し、ニューコンセプトパートⅡ店舗としてオープンしました。ニューコンセプトの新店としては、昨年開店した村上インター店よりも、さらに商圈人口の少ない地域への出店となりましたが、地域商品を多数取り扱っていることや、インスタペーカーリーとカフェコーナーの併設が好評です。



原信シビックコア店(新潟県長岡市 10月1日開店)

原信幸町店を9月28日に閉店し、近隣に移転してオープンしました。ニューコンセプトパートⅡの店舗として、インスタで製造しているカットフルーツ、漁師の町のこだわり練り物を揃えた『寺泊の練り屋さん』、長岡市北山のジェラート屋さん『soleime(ソレイム)』コーナーでアイスとクッキーを展開するなど、より地域の皆様に愛されるお店づくりを進めてまいります。



店舗展開とカバーエリア

200店舗という数字そのものは目的ではなく、お客様の暮らしそのものを守り育むという、チェーンストアの使命を果たすために必要な数ということです。フォーマットは売場面積が500～800坪のスーパー・スーパーマーケットです。出店は「一定の地域に、当社の店の商圈が互いに隣接するように集中出店する」ドミナントエリア形成を中心に進めます。

今後は、周辺地域への物流網の整備とドミナントエリアの形成を進めながら、複数の県に渡ってより広域で展開していくことになります。



9月末現在
66店舗
原信51店舗
ナルス15店舗

原信糸魚川東店

原信シビックコア店

「まごころの1円プログラム」実績と終了のお知らせ

当社グループでは、東日本大震災の被害の甚大さと、放射能問題などで復興の長期化が予測される状況に鑑み、企業市民として継続的な支援策が必要と判断し、原信ナルスオリジナル商品の販売1個につき、1円を積み立て、被災地の支援に充てる販売連動型支援の取り組みを行ってまいりました。当初の予定期間(4月1日～6月30日)を延長して取り組んでまいりましたが、積み立てについては、9月30日をもって終了いたしました。

積立金の金額及び支援の実績についてお知らせします。

積立金額	33,094,999円
支援した金額	21,118,413円
差引：積立残高	11,976,586円

8月5日、東日本大震災ボランティア活動基金へ

「活動資金」を寄贈いたしました

積み立ててきた資金の一部 500万円を、国際復興支援チーム中越様を通じ、東日本大震災ボランティア活動基金へ寄贈いたしました。

国際復興支援チーム中越(長岡市)様は、特定非営利活動法人くびき野NPOサポートセンター(上越市)様、特定非営利活動法人新潟NPO協会(新潟市)様と連携して、東日本大震災ボランティア活動基金を組成し、様々なNPO法人や団体の長期的な支援活動を支える為の資金援助を行っています。



9月28日、気仙沼漁業協同組合様へ

「サンマ自動重量選別機」を寄贈いたしました

宮城県気仙沼漁業協同組合様へ「サンマ自動重量選別機一式一台」を寄贈いたしました。また、併せて、当社グループ役員、従業員約1万人が心を込めて折り、一言を添えた「千羽鶴」の束も、お届けいたしました。今回寄贈した機械を活用していただき、美味しい魚を全国に届けてくださることを、心より祈念いたします。



11月3日、宮城県漁業協同組合雄勝町雄勝湾支所様へ

「トラック」を寄贈いたしました

宮城県漁業協同組合雄勝町雄勝湾支所様へ、収穫した魚を配送するための「トラック一台」を寄贈いたしました。漁港がある程度使える状態になっても、それを加工する設備などが復旧していない、近隣の加工場まで運ぶトラックが不足しているとお聞きし、これまでお世話になった被災地の水産業を直接支援しようと寄贈させていただきました。



◎ 株主優待制度

毎年3月31日および9月30日現在の株主名簿に記載または記録された、100株以上を保有される株主の皆様に対して、下記の贈呈基準をもとに、株主優待券(以下「お買い物割引券」と表記します)あるいは株主優待品の中から一点をご選択いただき贈呈いたします。

1. 株主優待制度の内容

- ① 贈 呈 内 容 お買い物割引券または株主優待品のいずれかをお選びいただけます。
各々の贈呈基準は「2. 株主優待制度の贈呈基準」を参照下さい。
(お買い物割引券と優待品の両方を選択することはできません)
- ② 対 象 者 100株以上の株主
- ③ 贈 呈 基 準 3月31日および9月30日現在の株主を対象に年2回実施
- ④ 贈 呈 方 法 対象者に案内書を送付し、案内書に添付された申込書に必要事項をご記入の上ご返送いただき、申込書と引き替えに商品等を贈呈いたします。

2. 株主優待制度の贈呈基準

(1) お買い物割引券 (額面100円)

- ① 贈 呈 基 準

100株以上	500株未満	15枚	3,000株以上	4,000株未満	150枚
500株以上	1,000株未満	30枚	4,000株以上	5,000株未満	200枚
1,000株以上	2,000株未満	50枚	5,000株以上		250枚
2,000株以上	3,000株未満	100枚			
- ② 使 用 方 法 一回のお買上金額1,000円以上につき、1,000円ごとに1枚(割引額100円)利用可能
- ③ 使用できる店舗および対象商品 原信、ナルスの直営売場における全商品(ただし専売品・商品券・その他指定商品は除く)
- ④ 有 効 期 限 3月31日現在の株主へのお買い物割引券は、配布日から翌年1月31日まで
9月30日現在の株主へのお買い物割引券は、配布日から翌年7月31日まで

(2) 株主優待品の贈呈基準

- | | | | |
|---------|----------|----------|---|
| 贈 呈 基 準 | 100株以上 | 500株未満 | 以下の2品より1品お選びいただけます。
クオカード 1,000円分・東日本大震災義援金 1,000円分* |
| | 500株以上 | 1,000株未満 | 以下の2品より1品お選びいただけます。
新潟県産コシヒカリ(米) 5kg・東日本大震災義援金 2,000円分* |
| | 1,000株以上 | | 以下の5品より1品お選びいただけます。
新潟県産コシヒカリ(米) 10kg・東日本大震災義援金 4,000円分*
岩塚製菓 米菓詰め合わせ 3箱1セット・亀田製菓 米菓詰め合わせ 3箱1セット
ボンオーハシ 和洋菓子詰め合わせ 3箱1セット |

※ 東日本大震災の被災地・被災された方へ日本赤十字社を通じて寄付をさせていただきます。



四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 2011年3月31日	当第2四半期 会計期間 2011年9月30日
資産の部		
流動資産	14,149	13,083 ●
固定資産	39,975	40,844 ●
有形固定資産	29,079	30,143
無形固定資産	1,746	1,656
投資その他の資産	9,149	9,044
資産合計	54,125	53,928
負債の部		
流動負債	17,826	17,692
固定負債	13,361	12,119 ●
負債合計	31,188	29,811
純資産の部		
株主資本	22,692	23,822
資本金	3,159	3,159
資本剰余金	6,405	6,405
利益剰余金	13,620	14,751
自己株式	△494	△494
その他の包括利益累計額	245	293
純資産合計	22,937	24,116 ●
負債純資産合計	54,125	53,928

流動資産・固定資産

流動資産は前連結会計年度末に比べ10億65百万円減少しました。これは主に、債務償還や設備投資に手元資金を用いたことによるものです。固定資産は前連結会計年度末に比べ8億68百万円増加しました。これは主に、店舗の新設、移転、改装に係る設備投資によるものです。

固定負債

固定負債は前連結会計年度末に比べ12億41百万円減少しました。これは主に、有利子負債の償還を手元資金で行なったことによるものです。

純資産

純資産は前連結会計年度末に比べ11億79百万円増加しました。これは主に、四半期純利益10億95百万円の計上と子会社1社を新たに連結範囲へ加えたことによる連結範囲の変動額2億46百万円の計上があったことによるものです。この結果、一株当たり純資産は前連結会計年度末に比べ67円1銭増加し、1,370円19銭となりました。

売上高・売上総利益

売上高は前年同期に比べ3.1%増加しました。これは主に、既存店がおおむね堅調だったことに加え、新規出店の効果と一昨年から開始した新たな商品政策がお客様に支持されたことによるものです。売上総利益は前年同期に比べ3.0%増加しました。これは主に、売上高の増加に加え、差別化商品の強化や販売計画の週間管理に関する新たな仕組みが定着したことにより、安定した利益率が得られたことによるものです。

営業利益

営業利益は前年同期に比べ1.5%増加しました。これは主に、新規出店、店舗移転による営業費用の増加はありましたが、コストコントロールに努め、前年同期と同様の営業利益率を確保できたことによるものです。

四半期純利益

四半期純利益は前年同期に比べ294.6%増加しました。これは主に、経常利益の増加に加え、前年同期における新しい会計基準の適用による影響といった多額の特別損失が当中間期はなかったことによるものです。この結果、一株当たり四半期純利益は前年同期に比べ46円81銭増加し、62円22銭となりました。

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 2010年4月1日から 2010年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 2011年4月1日から 2011年9月30日まで
● 売上高	61,504	63,387
売上原価	45,207	46,596
● 売上総利益	16,296	16,791
販売費及び一般管理費	14,249	14,713
● 営業利益	2,047	2,077
営業外収益	93	102
営業外費用	105	130
経常利益	2,035	2,048
特別損失	1,413	74
税金等調整前四半期純利益	621	1,974
法人税等合計	343	879
少数株主損益調整前 四半期純利益	277	1,095
● 四半期純利益	277	1,095

四半期連結包括利益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 2010年4月1日から 2010年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 2011年4月1日から 2011年9月30日まで
少数株主損益調整前四半期純利益	277	1,095
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	48
その他の包括利益合計	△16	48
● 四半期包括利益	261	1,143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	261	1,143
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

売上高・セグメント利益

スーパーマーケット事業の売上高は、631億10百万円で前年同期に比べ2.9%増加し、セグメント利益は19億82百万円で前年同期に比べ1.7%減少しました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 2010年4月1日から 2010年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 2011年4月1日から 2011年9月30日まで
● 営業活動によるキャッシュ・フロー	3,564	3,397
● 投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,419	△1,821
● 財務活動によるキャッシュ・フロー	△721	△2,666
現金及び現金同等物の増減額	423	△1,091
現金及び現金同等物の期首残高	4,609	6,227
連結範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増減額(△は減少)	—	88
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,032	5,224

営業活動によるキャッシュ・フロー

得られた資金は、前年同期に比べ1億66百万円減少しました。これは主に、たな卸資産の増加と法人税等の支払額が増加したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

使用した資金は、前年同期に比べ5億97百万円減少しました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が前年同期に比べ8億58百万円減少したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

使用した資金は、前年同期に比べ19億45百万円増加しました。これは主に、新たな資金調達を最小限に抑え、有利子負債の返済を積極的に進めたことによるものです。

セグメント情報(要旨)

(単位:百万円)

	スーパーマーケット	その他	合計
● 売上高			
外部顧客に対する売上高	63,082	304	63,387
セグメント間の内部売上高又は振替高	27	1,460	1,488
計	63,110	1,765	64,876
● セグメント利益	1,982	145	2,127

◎ 会社の概要

商 号 原信ナルスホールディングス株式会社
 設 立 1967年(昭和42年)8月
 所 在 地 新潟県長岡市中興野18番地2
 Tel: 0258-66-6711 Fax: 0258-66-6727
 資 本 金 31億5,971万2,610円
 上 場 取 引 所 東京証券取引所市場第1部
 証 券 コ ー ド 8255

◎ 主要取引銀行

株式会社第四銀行
 株式会社北越銀行
 株式会社大光銀行
 株式会社八十二銀行
 株式会社三井住友銀行
 株式会社商工組合中央金庫

◎ 会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

◎ 株式売買単位

100株

◎ 株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
利益配当基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
株主優待制度	有(年2回)
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

◎ 事業の内容

当社グループは、スーパーマーケットの経営を主な事業としております。

◎ 取締役、執行役員および監査役

代表取締役会長 山崎 軍 太 郎
 代表取締役社長 原 和 彦
 取締役副社長・執行役員 五十嵐 安 夫 (人事・組織・環境統括)
 常務取締役・執行役員 小 出 朗 (商品統括)
 常務取締役・執行役員 山 岸 豊 後 (経営企画統括)
 取締役・執行役員 森 山 仁 (店舗運営統括)
 執行役員 関 英 明 (店舗開発統括)
 執行役員 丸 山 三 行 (業務システム統括)
 執行役員 吉 田 浩 和 (財務経理部長)
 執行役員 早 川 仁 (営業企画統括)
 執行役員 松 田 易 伸 (物流統括)
 常勤監査役 高 橋 宏 一 (社外監査役)
 常勤監査役 増 田 和 弘
 監 査 役 金 子 健 三 (社外監査役)
 監 査 役 細 貝 巖 (社外監査役・独立役員)

(お問合せ先)	〒137-8081
(郵便物送付先)	東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(フリーダイヤル)
(住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について)	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。
単元株式数	100株
公告掲載方法	電子広告(ホームページアドレス http://www.hnhd.co.jp/)

◎ 株式の状況

発行可能株式総数	38,000,000 株
発行済株式総数	18,014,239 株
期末自己株式数	413,333 株
株主数	7,454 名

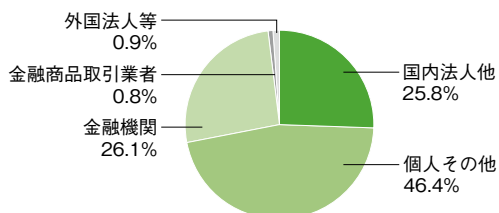
◎ 大株主(上位10名)

株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
原 和彦	1,248	7.0
原 信博	843	4.7
(株)第四銀行	835	4.7
原信ナルスグループ従業員持株会	666	3.7
(株)商工組合中央金庫	540	3.0
(株)三井住友銀行	398	2.2
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	368	2.0
原 正樹	368	2.0
原 セツ	320	1.8
ホクト(株)	302	1.7
合計	5,893	33.4

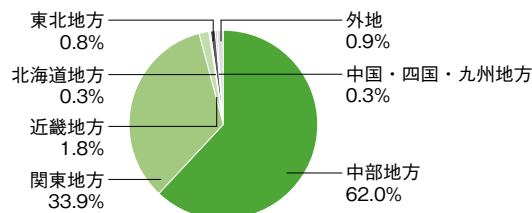
(注) 1: 上記の他、当社所有の自己株式413千株があります。

2: 持株比率は、自己株式を控除して算出しており、小数点第2位以下を切り捨てて表示しております。

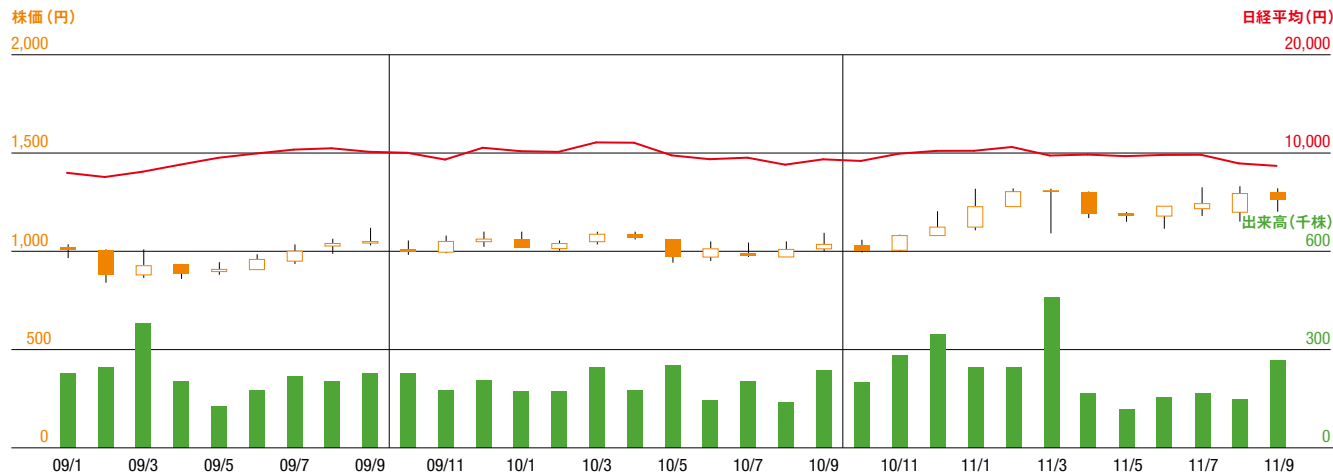
◎ 所有者別株式の分布状況



◎ 地域別株式の分布状況



◎ 株価チャート



原信ネットスーパー 開店!!

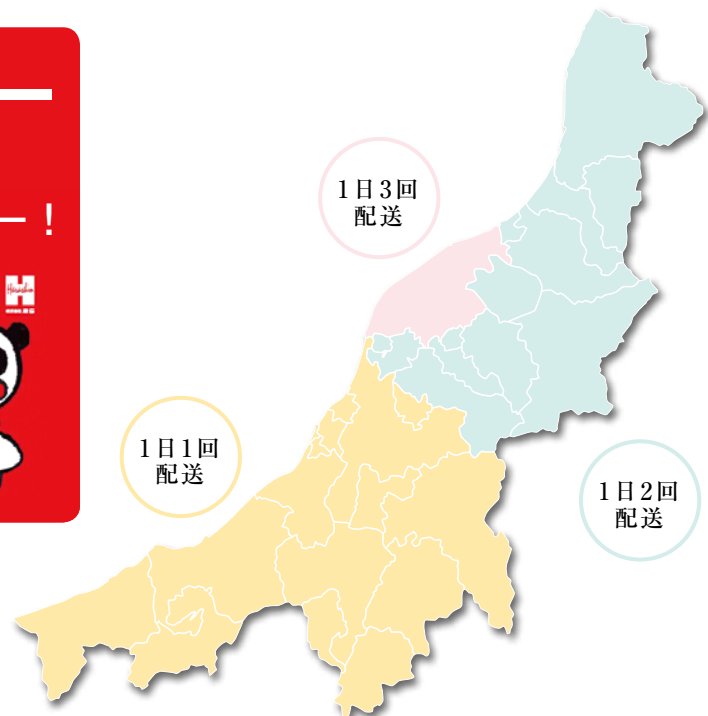
配送エリアは
新潟全域カバー!

原信より便利な@原信。

- ☑ 県内どこでもおうちに届く
- ☑ 好きな時間にお買い物
- ☑ お天気の悪い日でもラクラク
- ♡ いつもの原信品質だから安心
- ☑ 重い荷物を持たなくてもいい
- ☑ お買い物時間が毎日5分短縮



<http://harashin-netsuper.hnhd.co.jp>



1日3回
配送

1日1回
配送

1日2回
配送

原信ネットスーパーとは

インターネットで注文するだけで、ご来店いただかなくても、ヤマト運輸様の宅急便にて生鮮品・一般食品・日用品をお届けいたします。従来の店舗でのサービスを補完する事業として、また、原信ナルスが出店できていないエリアのお客様にも原信の商品をお届けできる新サービスです。

詳しくは、原信ネットスーパーHPでご確認ください。

<http://harashin-netsuper.hnhd.co.jp>

- ✔ いつもの原信品質でお届けします。
- ✔ 雨の日、雪の日もらくらくお買い物ができます。
- ✔ 飲料や米など重いものも玄関までお届けします。
- ✔ 離島を除き、新潟県内どこでも当日にお届けします。
- ✔ 時間とガソリンが節約できます。
- ✔ お子様のお昼寝の時間に買い物ができます。
- ✔ ご家族を看病しているときでも、家で買い物ができます。
- ✔ 入会金、年会費は無料です。

- ※ 配送料金は1回315円かかります。
- ※ 現金でお支払いの場合は手数料105円がかかります。
- ※ 冷凍食品ご購入の場合はドライアイス代105円がかかります。
- ※ お住まいの地域によって、注文締切時刻、配達時間が異なります。

11月7日 (日)	11月8日 (月)
受付時間	受付時間
配達時間	配達時間
朝 14:00~	朝 14:00~
昼 08:00~16:00	昼 08:00~16:00
夜 16:00~	夜 16:00~
※ 10:00~18:00	※ 10:00~18:00
※ 18:00~20:00	※ 18:00~20:00
※ 20:00~	※ 20:00~
※ 13:00~21:00	※ 13:00~21:00